

施策番号	2707		
施策名	水共生の取組の推進		
概要	水に関する諸課題の解決に向け、流域全体の治水対策、良好な水辺環境の実現等の水共生の取組を市民、事業者、行政が連携して推進し、水に関する市民意識が高いまちを目指す。		
担当局・部室	建設局・水と緑環境部	共管局・部室	
上位政策	27 くらしの水		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市水共生プラン		

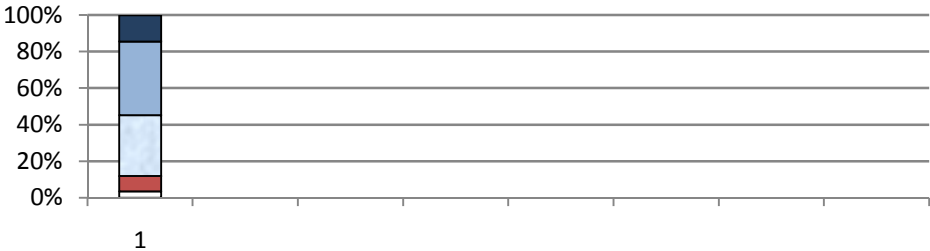
施策の評価

1 客観指標評価

指標名		年度	年度	23年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト
1	都市基盤河川改修率(%)	-	-	60.5	60.6	60.6	100.0%	a	1.00
2	親水性のある水辺空間の整備率(%)	-	-	78.0	81.3	81.3	100.0%	a	1.00
3	公共施設における雨水浸透施設設置率(%)	-	-	88.9	90.0	100.0	90.0%	a	1.00
4	水共生学習会の実施率(%)	-	-	-	-	-	-	-	
5	公共施設における雨水貯留施設設置率(%)	-	-	80.0	87.5	100.0	87.5%	b	1.00
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
				客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		23年度回答					有効回答者数	評価
		そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1	水や水辺環境が大切にされるなど、水と共に生きる意識が高まっている。	82	231	191	48	20	572	b
		14. 3%	40. 4%	33. 4%	8. 4%	3. 5%		
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						b



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					
	重み付け	☐ 客観指標	a	☒ 市民の実感	b	
(重み付けの理由) 当該施策は、水に関する市民意識の高いまちを目指すものであるため、市民生活実感評価を重視する。						年度 -
(原因分析) ・客観指標では、指標「水共生学習会の実施率」が平成23年度からの新規事業に係る指標であるため、それを除く指標での評価ではあるものの、a評価であった。一方で、それらの取組が市民に十分周知されなかったため、市民の実感ではb評価となったと考える。						年度 -

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		22年度 決算額	23年度 予算額		
1	西羽束師川改修	182,858	60,229	-	建設局
2	西高瀬川改修	187,068	17,339	-	建設局
3	新川改修	257,019	133,799	-	建設局
4	善峰川改修	109,583	67,799	-	建設局
5	岩倉川改修	41,311	9,309	-	建設局
6	白川改修	3,198	2,984	-	建設局
7	七瀬川改修	211,790	152,257	-	建設局
8	河川改良	133,952	284,110	-	建設局
9	東高瀬川改修	0	17,042	-	建設局
10	幹線排水路改良	230,895	-	-	建設局
11	治水計画基本調査	17,621	17,017	-	建設局
12	高瀬川再生プロジェクト	0	19,542	-	建設局
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

＊予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

・河川改修や親水性のある水辺空間の整備，雨水浸透施設及び貯留施設の設置を引き続き推進する。 ・平成23年度からの新規事業である水共生学習会を推進することで，各取組の周知を図るとともに，水に関する市民意識の一層の向上を目指す。

施策名	2707	水共生の取組の推進					
指標名	都市基盤河川改修率（％）						
担当課	河川整備課		連絡先	2 2 2－3 5 9 1			
1 指標の説明							
都市基盤河川（※）の改修率 ※国や府が維持管理を行う一級河川の中で、周辺地域における市街地整備と関連した治水対策を実施する必要がある等、一定の要件を満たした河川。本来の河川管理者に代わり、京都市が改修工事などを実施する。							
2 指標の意味							
水との共生に向けた治水対策の推進状況を示す指標			3 算出方法・出典等				
			算出方法：都市基盤河川整備延長÷都市基盤河川計画延長×100 出典：事業担当課調べ				
4 数値							
	前回数値 21年度	最新数値 22年度	推移	目標値			
				数値	根拠	達成度	
数値	60.5	60.6	0.1ポイント増	60.6	都市基盤河川における当該年度の目標改修率	100.0%	
	全国順位	中長期目標			備考		
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値							
5 評価基準							
最新値をx、（目標値-前回値）をyとしたとき、 a：目標値≤x b：前回値+y*2/3≤x<目標値 c：前回値+y*1/3≤x<前回値+y*2/3 d：前回値<x<前回値+y*1/3 e：x=前回値			6 基準説明				
			目標値を達成することは不可能ではないが、財政状況の寄与度が高いことから、目標値以上の達成をaとし、5段階に基準を設定した。				
7 評価結果							
					23		
					a		

指標名	親水性のある水辺空間の整備率（％）						
担当課	河川整備課		連絡先	2 2 2－3 5 9 1			
1 指標の説明							
親水性のある水辺空間（※）の整備率 ※人が水に親しみやすい水辺空間のこと							
2 指標の意味							
水との共生に向けた良好な水環境実現の推進状況を示す指標			3 算出方法・出典等				
			算出方法：親水性のある水辺空間の整備延長÷平成32年目標整備延長（※）×100 ※平成20年度比30%増 出典：事業担当課調べ				
4 数値							
	前回数値 21年度	最新数値 22年度	推移	目標値			
				数値	根拠	達成度	
数値	78.0	81.3	3.3ポイント増	81.3	平成32年目標整備延長に対する当該年度の目標整備率	100.0%	
	全国順位	中長期目標			備考		
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値		100	32年度				平成32年度に100%の達成を目指す。
5 評価基準							
最新値をx、（目標値-前回値）をyとしたとき、 a：目標値≤x b：前回値+y*2/3≤x<目標値 c：前回値+y*1/3≤x<前回値+y*2/3 d：前回値<x<前回値+y*1/3 e：x=前回値			6 基準説明				
			目標値を達成することは不可能ではないが、財政状況の寄与度が高いことから、目標値以上の達成をaとし、5段階に基準を設定した。				
7 評価結果							
					23		
					a		

施策名	2707	水共生の取組の推進				
-----	------	-----------	--	--	--	--

指標名	公共施設における雨水浸透施設設置率（％）					
-----	----------------------	--	--	--	--	--

担当課	河川整備課	連絡先	2 2 2 - 3 5 9 1		
-----	-------	-----	-----------------	--	--

1 指標の説明

京都市雨水流出抑制対策実施要綱に基づく協議対象のうち、雨水浸透施設（※）が設置可能な件数に対する当該年度の設置率
※雨水を地中に浸透させ、雨水の総流出量を減少させるために設置する施設

2 指標の意味

水との共生に向けた健全な水循環系回復の推進状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：設置件数÷協議対象のうち設置可能件数×100
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	88.9	90.0	1.1ポイント増	100.0	毎年度100%の設置を目指す。	90.0%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値					

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：90%以上
b：70%以上～90%未満
c：50%以上～70%未満
d：30%以上～50%未満
e：30%未満

6 基準説明

目標値を達成することは不可能ではないが、財政状況の寄与度が比較的高いことから、90%以上の達成をaとし、20%刻みで等間隔に基準を設定した。

7 評価結果

		23
-	-	a

1 指標の説明

水に対する意識を向上させ、身近な水辺空間の保全等を啓発する「水共生学習会」の実施率

2 指標の意味

水との共生に向けたゆたかな水文化創造の推進状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：実施件数÷平成32年目標実施件数（※）×100 ※20件
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	-	-		-	水共生学習会は平成23年度からの新規事業であるため、平成22年度は実績がない	-

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値					水共生学習会は平成23年度からの新規事業であるため、評価は次年度から行う。

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：80%以上～100%未満
c：60%以上～80%未満
d：40%以上～60%未満
e：40%未満

6 基準説明

目標値を上回ることとは不可能ではないため、100%以上の達成をaとし、20%刻みで等間隔に基準を設定した。

7 評価結果

		23
-	-	-

施策名	2707	水共生の取組の推進				
指標名	公共施設における雨水貯留施設設置率（％）					
担当課	河川整備課		連絡先	2 2 2－3 5 9 1		
1 指標の説明						
京都市雨水流出抑制対策実施要綱に基づく協議対象のうち、雨水貯留施設（※）が設置可能な件数に対する当該年度の設置率 ※雨水タンク等，雨水を貯留し，打ち水等への利用が可能なものに限る。						
2 指標の意味						
水との共生に向けた雨水利用の推進状況を示す指標			3 算出方法・出典等			
			算出方法：設置件数÷協議対象のうち設置可能件数×100 出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値 21年度	最新数値 22年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	80.0	87.5	7.5ポイント増	100.0	毎年度100%の設置を目指す。	87.5%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a：90%以上 b：70%以上～90%未満 c：50%以上～70%未満 d：30%以上～50%未満 e：30%未満			6 基準説明		7 評価結果	
			目標値を達成することは不可能ではないが，財政状況の寄与度が比較的高いことから，90%以上の達成をaとし，20%刻みで等間隔に基準を設定した。			
					23	
					b	